



ご近所とのおすそ分けやラジオ体操、グランドゴルフなどの仲間は、地域の皆さんにとって当たり前の営みです。こうしたつながりは、お互いを気遣い、介護サービスに頼らず自宅で暮らし続けるための重要な鍵となります。「つながる通信」ではそういったささえ合いを「お宝」として、発信していきます。

取材先

◇新田綿打地区 花香塚いきいきサロン



女性部長：関口さん



↑ 入口での検温・消毒

◇対策を万全にして活動を再開

花香塚地区のいきいきサロンは老人会の「花香会」が中心に活動しています。4月～6月は新型コロナウイルスの影響でお休みになっていましたが、7月からは検温・消毒・マスクの着用・換気を徹底して、活動時間も1時間のみ、お弁当はお持ち帰りできるものにするなど様々な対策をして活動が再開されました。

活動の内容も、コロナ禍でも安心な塗り絵にして、色鉛筆は使いまわしではなく1人1セットにするなど、工夫して活動しています。活動中は皆さん集中して塗り絵に取り組んでいましたが、始めと終わりにはマスクをしながら楽しそうにお喋りをしている姿が印象的でした。女性部長の関口さんは「参加した人から『やっぱり人と話せるのは楽しい。来月もやってね。』という声をもらうことが多いので、いろいろ工夫しながら継続して活動していきたい。」と話してくれました。



◇元気の秘訣

この日参加した最高齢の齋藤禮子れいこさん(91)。元気の秘訣は、ひ孫と遊ぶこと、何でも食べること、畑仕事と話してくれました。齋藤さんはサロンがない日も散歩に行ったり草むしりをしています。以前は大正琴を習ったり、グラウンドゴルフもしていたそうで、積極的に外に出て身体を動かしたり、サロンや趣味を通じて色々な人と接点をもつことは齋藤さんの元気の秘訣だと感じました。

地域のお宝発見～日頃の交流が支え合い活動～ 太田市生活支援体制整備事業

取材先

◇新田綿打地区 矢島商店



矢島商店



あさ子さん(83)

綾穂さん(89)

矢島商店は、ご近所の皆さんがよく利用されていたそうで、現在も少しですが洋服やお饅頭などを売っています。お店は大きな通り沿いで、そこに暮らすあさ子さんの気さくなお人柄もあってか、毎日のようにご近所の誰かが、おすそわけやお茶のみに来ているそうです。その中の一人、綾穂さん(89)は、ほぼ毎日、多めに作ったお料理を持って、あさ子さんの所に遊びに来るそうです。その理由を伺うと「お喋りが楽しいし作った料理を美味しいって食べてくれるから。」と話してくれました。あさ子さんもそんな綾穂さんのことを「毎日私の話し相手をしてくれる。」と話し、自分よりも少し年上の綾穂さんのことを大切に気遣いながらも、少し困ったことがあると綾穂さんを頼ったりして、姉妹のような関係でつながっているお二人の姿が印象的でした。

この日は、綾穂さんの他にも自転車でおすそわけに来た人がいました。いつもこの写真のように誰かしらフラッと立ち寄っておすそわけしてくれたり、お茶のみをしに来ているそうです。こうした関係が、お互いに緩やかな見守り見守られ・安否確認につながり、さらにそこでの世間話が情報交換にもつながっています。



あさ子さんは83歳ですが、現在も現役でヘルパーのお仕事をしたり、車で息子さんの送迎をしています。71歳でヘルパーに必要な資格の勉強を始め、3ヶ月で取得。72歳からヘルパーとして働き始めたそうです。

年齢に関係なく新しいことに挑戦する姿勢や、人とのつながりを大切にするのでいつも周りに誰かがいて、その人たちとよく喋ってよく笑うことが、あさ子さんの元気の秘訣だと感じました。

チェックポイント

- ・おすそわけやお茶のみで、お互いに自然な安否確認、情報交換
- ・コロナ禍でも切らさないご近所同士のつながり

◇『つながる通信』は太田市社会福祉協議会のホームページ<https://otashakyo.jp/>に掲載しております

お問合せ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1 5 4 9

電話 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032